



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月6日

上場会社名 クリナップ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7955 URL <http://cleanup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 佐藤 茂

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経理部長 (氏名) 川田 和弘

TEL 03-3894-4771

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	81,023	6.3	1,420	43.7	1,465	38.1	1,047	40.7
29年3月期第3四半期	86,477	0.1	2,521	43.5	2,365	51.8	1,766	86.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,789百万円 (12.1%) 29年3月期第3四半期 2,035百万円 (106.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	28.61	
29年3月期第3四半期	43.04	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	87,621	53,667	61.2	1,466.55
29年3月期	84,369	52,615	62.4	1,437.82

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 53,667百万円 29年3月期 52,615百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		10.00		10.00	20.00
30年3月期		10.00			
30年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,300	3.0	1,400	29.6	1,300	27.6	700	47.7	19.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	37,442,374 株	29年3月期	41,942,374 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	848,367 株	29年3月期	5,348,487 株
----------	-----------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	36,593,899 株	29年3月期3Q	41,036,663 株
----------	--------------	----------	--------------

(注) 期末自己株式数には、「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式(30年3月期3Q 297,760株、29年3月期 298,080株)が含まれております。また、「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(30年3月期3Q 297,944株、29年3月期3Q 299,804株)。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧米の政治リスクや東アジアの地政学的リスクの影響が懸念される中、輸出主導の回復基調で推移したものの、個人消費の本格的な回復には至りませんでした。

住宅設備機器業界におきましては、貸家の減速により新設住宅着工戸数が低調となったのに加え、リフォーム市場も依然横ばいで活性化に至らず、厳しい状況が継続されました。

このような中、当社グループ（当社及び連結子会社をいう。以下同じ。）は、『流レールシンク』を標準装備したシステムキッチン「S. S.」や「クリンレディ」、平成29年9月に収納提案“スタイルシェルフ”を搭載して新発売したシステムバスルーム「ユアシス」、インテリアトレンドに因應するため扉色を刷新したコンパクトキッチン「コルティ」など、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供強化を図るため、平成29年9月に首都圏リフォームに重点を置いた江戸川ショールームを新設いたしました。また、全国103ヶ所となったショールームにてイベントを開催し、当社の会員登録制組織「水まわり工房」加盟店をはじめとした流通パートナーとの連携も深めながら、需要の拡大、獲得に努めてまいりました。

生産面では、東西の生産拠点での生産性向上、V E活動を推進し、原価低減に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比6.3%減の810億2千3百万円となりました。利益面では営業利益は同43.7%減の14億2千万円、経常利益は同38.1%減の14億6千5百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同40.7%減の10億4千7百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は876億2千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億5千2百万円増加いたしました。流動資産は543億7千8百万円となり、8億7千9百万円増加いたしました。これは電子記録債権が34億5千4百万円、商品及び製品が17億2千5百万円増加した一方、現金及び預金が4億3千1百万円、受取手形及び売掛金が28億7千万円、有価証券が9億9千7百万円減少したこと等によります。固定資産は332億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億7千2百万円増加いたしました。これは主にリース資産の増加によって有形固定資産が9億5千万円増加、投資その他の資産が16億8千1百万円増加したこと等によります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は339億5千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億円の増加となりました。流動負債は主に、短期借入金が14億4千6百万円、電子記録債務が17億1千3百万円、前受金（流動負債その他）が9億4千9百万円増加した一方、賞与引当金が8億5千7百万円減少したこと等により28億1百万円増加し、260億8千4百万円となりました。固定負債は主にリース債務（固定負債その他）の増加13億7千5百万円と長期借入金の減少20億9千4百万円等により6億1百万円減少し、78億6千9百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は536億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億5千1百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益10億4千7百万円、配当金の支払い7億3千7百万円、その他有価証券評価差額金の増加6億9千8百万円等によります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の62.4%から61.2%になりました。

## (キャッシュ・フロー)

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ9億3千1百万円（4.3%）減少して209億6千4百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は24億3百万円（前年同期比30.2%増）となりました。これは税金等調整前四半期純利益が14億3千2百万円、減価償却費が26億3千2百万円、仕入債務の増加15億4千4百万円があった一方、賞与引当金の減少8億6千5百万円、たな卸資産の増加19億4百万円、法人税等の支払額4億8千7百万円があったこと等によるものです。

当第3四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は18億1千5百万円（前年同期比25.9%減）となりました。これは生産設備の改修、ショールーム移転・改装等により有形固定資産の取得による支出が12億3千3百万円、情報システム構築に伴う無形固定資産の取得による支出が5億8千5百万円、投資有価証券の取得による支出が5億3千9百万円あった一方、有価証券の償還による収入が5億円あったこと等によるものです。

当第3四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は15億2千3百万円（前年同期は4億3千3百万円の獲得）となりました。これは長期借入金の純減が25億5千7百万円、配当金の支払いが7億3千7百万円あった一方、短期借入金の純増が19億1千万円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、低調で推移する新設住宅着工戸数や伸び悩みリフォーム市場の回復には時間がかかると思われ、不透明感を払拭できない状況となっております。

このような中、当社グループは、高級市場に向け、平成30年2月にシステムキッチン「CENTRO（セントロ）」及び洗面化粧台「TIARIS（ティアリス）」を新発売いたします。また、『流レールシンク』が好評のシステムキッチン「クリンレディ」や、平成29年9月に新発売したシステムバスルーム「ユアシス」などを中心として売上拡大に努めてまいります。また、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供を引き続き強化し、会員登録制組織「水まわり工房」加盟店をはじめとした流通パートナーと連携してリフォーム需要を喚起し、効果的な販売活動に注力してまいります。

さらに、生産設備の整備、情報基盤整備等への投資の一方、生産面での原価低減、全社的なコスト削減にも努めてまいります。

以上により、現時点での業績予想につきましては、平成29年11月1日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	20,896	20,464
受取手形及び売掛金	17,720	14,850
電子記録債権	8,694	12,148
有価証券	1,996	999
商品及び製品	1,130	2,855
仕掛品	112	181
原材料及び貯蔵品	974	978
その他	1,976	1,898
貸倒引当金	△4	—
流動資産合計	53,498	54,378
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	8,911	8,701
その他(純額)	12,346	13,506
有形固定資産合計	21,257	22,207
無形固定資産	2,830	2,571
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	4,119	5,577
その他	2,717	2,939
貸倒引当金	△54	△52
投資その他の資産合計	6,782	8,464
固定資産合計	30,870	33,242
資産合計	84,369	87,621

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,557	6,389
電子記録債務	5,202	6,915
短期借入金	3,379	4,825
未払金	4,866	4,908
未払法人税等	535	311
賞与引当金	1,147	289
資産除去債務	5	4
その他	1,588	2,438
流動負債合計	23,282	26,084
固定負債		
長期借入金	3,962	1,867
退職給付に係る負債	1,081	840
役員退職慰労引当金	416	416
株式給付引当金	168	210
資産除去債務	384	390
その他	2,458	4,143
固定負債合計	8,470	7,869
負債合計	31,753	33,954
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351
利益剰余金	29,391	26,274
自己株式	△4,113	△686
株主資本合計	50,897	51,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,264	1,962
為替換算調整勘定	35	39
退職給付に係る調整累計額	418	457
その他の包括利益累計額合計	1,718	2,460
純資産合計	52,615	53,667
負債純資産合計	84,369	87,621

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	86,477	81,023
売上原価	57,571	53,418
売上総利益	28,905	27,604
販売費及び一般管理費	26,383	26,184
営業利益	2,521	1,420
営業外収益		
受取利息	4	9
受取配当金	90	101
仕入割引	216	208
その他	128	138
営業外収益合計	439	458
営業外費用		
支払利息	18	27
売上割引	486	352
その他	91	33
営業外費用合計	595	413
経常利益	2,365	1,465
特別利益		
固定資産売却益	3	—
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	317	—
補助金収入	—	171
特別利益合計	320	171
特別損失		
固定資産除売却損	39	24
投資有価証券評価損	—	35
固定資産圧縮損	—	125
減損損失	5	19
特別損失合計	45	204
税金等調整前四半期純利益	2,640	1,432
法人税等	874	385
四半期純利益	1,766	1,047
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,766	1,047



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	1,766	1,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	369	698
為替換算調整勘定	△124	4
退職給付に係る調整額	24	39
その他の包括利益合計	269	742
四半期包括利益	2,035	1,789
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,035	1,789
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,640	1,432
減価償却費	2,795	2,632
賞与引当金の増減額(△は減少)	△811	△865
厚生年金基金解散損失引当金の増減額(△は減少)	△915	—
売上債権の増減額(△は増加)	△993	394
たな卸資産の増減額(△は増加)	△610	△1,904
仕入債務の増減額(△は減少)	4,886	1,544
未払金の増減額(△は減少)	△5,309	220
固定資産圧縮損	—	125
補助金収入	—	△171
その他	326	△611
小計	2,008	2,797
利息及び配当金の受取額	95	110
利息の支払額	△17	△26
法人税等の支払額	△303	△487
法人税等の還付額	62	9
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,845	2,403
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△999	△0
有価証券の償還による収入	500	500
有形固定資産の取得による支出	△1,068	△1,233
有形固定資産の売却による収入	11	0
無形固定資産の取得による支出	△385	△585
投資有価証券の取得による支出	△502	△539
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	33
その他	△3	9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,449	△1,815
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	1,910
長期借入れによる収入	6,800	90
長期借入金の返済による支出	△1,612	△2,647
自己株式の取得による支出	△3,831	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△837	△737
その他	△85	△138
財務活動によるキャッシュ・フロー	433	△1,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	△115	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△285	△931
現金及び現金同等物の期首残高	21,811	21,896
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,525	20,964

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年5月9日開催の取締役会決議に基づき、平成29年5月31日付で、自己株式4,500,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ3,426百万円減少しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当社の連結子会社であったクリナップ岡山工業株式会社は、平成29年4月1日付で当社を存続会社とする吸収合併を行ったため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

また、平成29年4月3日に情報システム関連の会社である株式会社エイチエスケイの全株式を取得し、同社を連結子会社としたため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

なお、同社の連結子会社化に伴い、商号をクリナップソリューション株式会社に変更しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日至平成28年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成29年4月1日至平成29年12月31日）

当社グループは、住宅及び店舗・事業所用設備機器関連事業とその他事業を行っておりますが、報告セグメントは単一セグメントであり、重要性が乏しいため、記載を省略しております。